

製品名: ATG9A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86752**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:100,FC 1:20-1:50,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:95 kDa; Observed MW:100-110 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG9A
別名	mATG9; APG9L1; MGD3208
遺伝子 ID	79065
SwissProt ID	Q7Z3C6
免疫原	ヒト ATG9A の合成ペプチド

背景

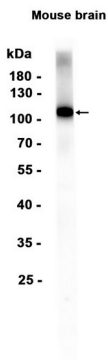
オートファジーおよび細胞質から液胞への輸送（Cvt）小胞の形成に関与する。隔離小胞形成の核形成部位であるプレオートファゴ

ソーム構造 / ファゴフォア集合部位 (PAS) の構築に重要な役割を果たす。核近傍のトランスゴルジ体ネットワーク区画と後期エンドソームの間を循環する。栄養飢餓はオートファゴソームへの蓄積を誘導する。飢餓依存性輸送には ULK1、ATG13、および SUPT20H が必要である。

研究分野

-

画像データ



ATG9A ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。